

検査容器変更のご案内

謹啓 時下益々ご隆盛のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

この度、微生物学的検査で使用する容器を変更させていただくこととなりましたので、ご案内いたします。

先生方には大変ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご了承下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬白

記

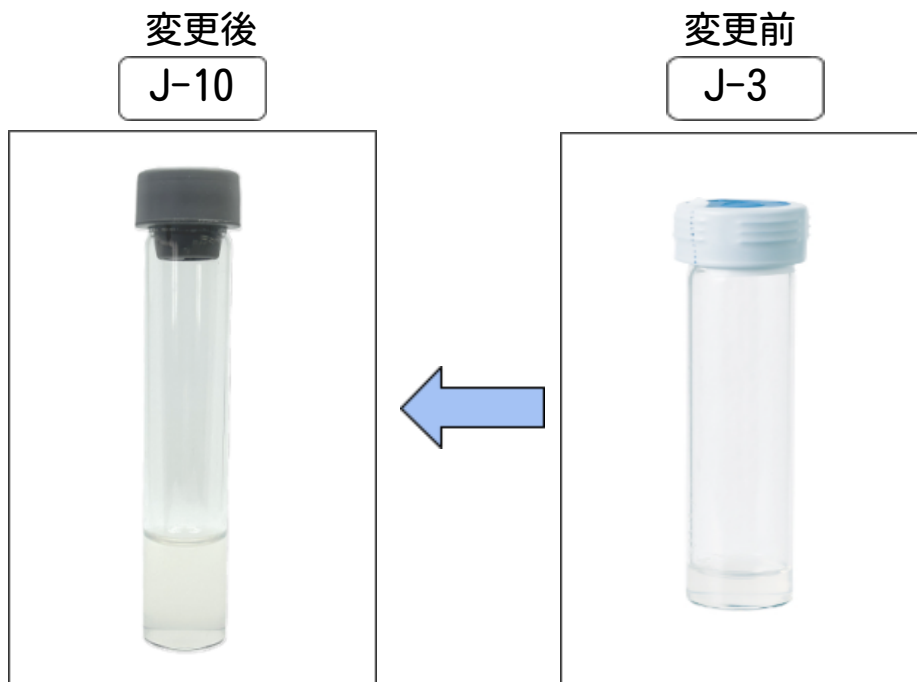
《検査項目》 嫌気性培養

《変更日》 従来品の在庫が無くなり次第 順次変更

《変更内容》 微生物学的検査用容器（J-3）の変更

検査項目	変更内容	変更後	変更前
細菌検査全般	採取容器	嫌気性輸送用容器 シードチューブ® II '栄研'	ケンキポーター II
	採取容器記号	J-10	J-3
	内容物	嫌気性輸送用培地	インジケーター付寒天 CO2ガス

※ 詳細は裏面をご参照ください



《使用方法》

液体検体（穿刺液、消化液等）	固形検体（膿、糞便、組織片等）
<p>①穿刺部（ゴムキャップ上の小円）を消毒用アルコール綿等で消毒します。</p> <p>②注射針を穿刺部に垂直に穿刺し、液体検体を注入します。</p> <p>③検体は速やかに提出して下さい。やむを得ず保存する場合は冷所保存して下さい。</p>	<p>①ゴムキャップを消毒用アルコール綿等で消毒します。</p> <p>②ゴムキャップを外し、固形検体を入れます。検体は寒天の奥まで挿入してください。 ※綿棒は長さ7cmまで入ります。 それ以上のものは切断してください。</p> <p>③ゴムキャップを速やかにしっかり閉めます。</p> <p>④検体は速やかに提出して下さい。やむを得ず保存する場合は冷所保存して下さい。</p>